

「ふれあう」

エピソード

健一さんは、娘の亜季さんが小学校に入学したときにPTA役員になってから、ずっとさまざまな地域の活動にかかわっています。

そんな健一さんのところには、いつもいろんな相談が持ちこまれます。

今日は、「子どもクラブ」の坂田さんが来ています。

「子どもクラブ」では、野外活動センターで2泊3日のキャンプをすることになったのですが…。

坂 田：「親子がそれぞれ別々のテントに宿泊することにしたんですよ。そうしたら、よその子どもといっしょになるのはいやだと言う人もいて…」

健 一：「おもしろいアイデアだと思うけれどなあ。みんなで行くんだから、よその家族と交流するのがおもしろいはずなんだが…」

坂 田：「自分たち親子だけで楽しみたいということなんですかねえ…。それに、若い人もあまり協力してくれなくて。子どものときに参加してくれたことのある人にも声をかけているんですが…」



健一さんたちが話しあっているところに、亜季さんが帰ってきました。

亜 季：「ただいまー。」

健 一：「そうだ、亜季！ 夏休みに子どもたちを連れて離島へキャンプに行くって言ってたよなあ。」

亜 季：「そうだよ。7泊8日のキャンプのリーダーなんだから。」

健 一：「そこをみこんで、たのみがあるんだよ。子どもクラブにも協力してもらえないかなあ。」

亜 季：「だめだよ。そんなの…」

健 一：「どうしてだめなんだい？」

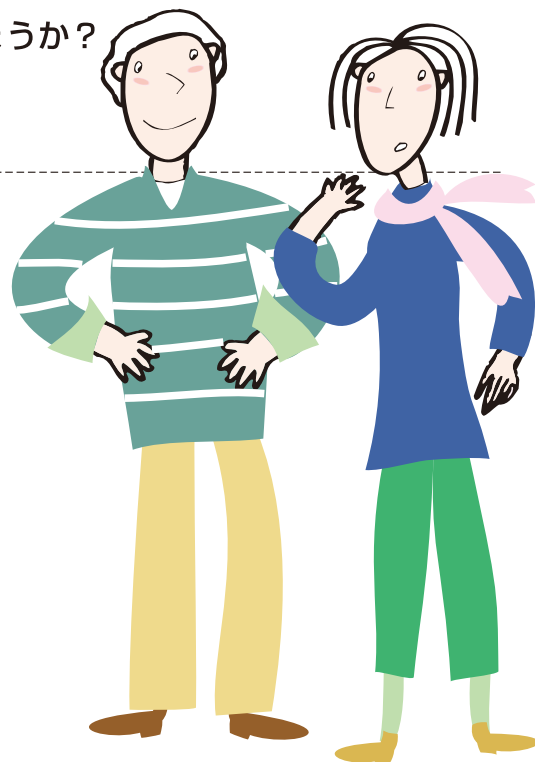
亜 季：「だって、おもしろくないんだもん…」



話しあいのポイント

- 健一さんと亜季さんのやりとりで感じたことは何でしょうか？

- みんなが活動をとおしてふれあいを広げるためには何が大切だと思いますか？



交流・体験

「子育て前期」「子育て後期」参加者との交流

- 子育ての悩みについて聴き、今の親や子どもを取りまく状況について考えてみましょう。
- 子育てについての経験や知恵、子どもの発達段階に応じた接し方などを話しあってみましょう。

